

Race Book 2015

Koudai Cup カートレースシリーズ

キッズクラス&カデットクラス



フォーミュランド・ラー飯能

■Koudai Cup 開催にあたり

スーパーフォーミュラ、スーパーGTのドライバーである塚越広大選手のモータースポーツの原点が、ここフォーミュランド・ラー飯能です。キッズ時代、初めてラー飯能でカートを経験し、以来キッズ時代をラー飯能で学びました。そんな背景から、塚越広大選手がラー飯能でキッズカートスクールを開催し、2014年7月からはラー飯能を営むまでとなりました。そして塚越選手がキッズ時代に夢や目標に向かっていったように、「子供たちの夢を少しでもお手伝い出来れば…」という思いが、「Koudai Cup」です。それは塚越選手にとってのキッズカート時代の経験、特に「物事に取り組む姿勢や考え方」「ルールやマナーの大切さ」など、さまざまな事が、今に生きています。

2015年シーズン、塚越選手は、出来る限り、「Koudai Cup」には顔を出し、子供たちのルール・マナーをしっかりと守った、元気な走りを見たいと考えております。

■2015年 Koudai Cup カートレースシリーズ キッズ & カデット

3月22日(日)	第1戦 (併催レース:カデット・ヤマハ MZ シリーズ第1戦)
4月26日(日)	第2戦 (併催レース:キッズ・ワコーズチャレンジシリーズ第2戦)
6月 7日(日)	第3戦 (併催レース:カデット・ヤマハ MZ シリーズ第3戦)
9月 6日(日)	第4戦 (併催レース:キッズ・ワコーズチャレンジシリーズ第4戦/カデット・ヤマハ MZ シリーズ第5戦)
11月22日(日)	最終戦 (併催レース:キッズ・ワコーズチャレンジシリーズ第6戦)

■Koudai Cup Kart Race

名 称	2015Koudai Cup カートレースシリーズ キッズクラス&カデットクラス
競技種目	スプリントレース
競技車輛	リブレ車輛
競技格式	クローズド
エントリーフィー	キッズクラス 8000円(9000円) / カデットクラス 9000円(10000円)
保 険 料	ドライバー 2000円/1年 ピットクルー 500円/1日 (2名まで)
エンジンレンタル料	キッズクラス 3000円 / カデットクラス 5000円
参加資格	キッズクラス:5歳以上で、キッズカートライセンス所持者、事務局が認めたものとする。 カデットクラス:今年度8歳以上で、キッズカートライセンスか SL 所持者、事務局が認めたものとする。
レースシステム	キッズクラス(キッズビギナークラス) スプリントレース。スタート方式はグリッドからのスタンディング方式。 予選ヒート10周(8周)と決勝ヒート12周(10周)の2ヒート制とする。決勝ヒートのグリッドは予選ヒートの結果で決定され、予選ヒートのグリッドはタイムトライアルの結果によって決定する。また、タイムトライアルのタイムが同タイムの場合はセカンドタイムによって決定されるものとする。 カデットクラス スプリントレース。スタート方式はローリングスタート。 予選ヒート12周と決勝ヒート15周の2ヒート制とする。決勝ヒートのグリッドは予選ヒートの結果で決定され、予選ヒートのグリッドはタイムトライアルの結果によって決定する。また、タイムトライアルのタイムが同タイムの場合はセカンドタイムによって決定されるものとする。

■各レース共通特別規則書

本レースシリーズは FIA の国際モータースポーツ競技規則及び国際カート規則並びにそれに準拠した JAF 国内競技規則及び JAF 国内カート競技規則とその付則ならびに共通特別規則書、本レース特別競技規則に従って開催される。

第1章 大会開催に関する事項

1. 大会役員 各レース公式プログラムに記載
2. 大会事務局 フォーミュランド・ラー飯能
埼玉県飯能市赤沢1117 TEL 042-977-3066 Fax 042-977-3067
3. 競技会オーガナイザー及び開催場所
①競技会オーガナイザー アリバーズコーポレーション
埼玉県飯能市赤沢1117 TEL 042-977-3066
4. 競技日程 別紙参照
5. 公式通知に関する規定
本規則に記載されていない競技運営に関する実施の細目及びドライバーに対する指示細目は、本規則書付則及び公式通知によって公示される。なお、公示の方法はエントリー申込書に記入してあるドライバーの連絡先に送付するか、開催場所掲示板に掲示される。

第2章 競技会参加に関する事項

1. 延期、中止または取り止め及び変更に関する事項
オーガナイザーは、大会の一部あるいは全部を延期、中止、または取り止めることができる。イベントの全部あるいは24時間以上延期する場合、エントリーフィーは全額返還される。但し保険料は返還されない。さらに、エントラント及びドライバーはこれによって生じる損失についてオーガナイザーに抗議する権利を保有しない。なお、オーガナイザーは大会審査委員会の承認を得てイベントの内容を変更する権限を保有するものとする。これに対する抗議は認めない。
2. エントリーの受付け
 - (1) エントリーの受付け期間
大会開催日、1ヶ月前から5日前まで。ただし救済処置として大会前日の15時までにおいては遅延金3000円を添えてのエントリーも可能。その場合は、プログラムに名前が記載されない場合もある。
 - (2) 受理または拒否の通知
大会開催の1週間前から開催当日を除き3日前までの消印を持って発送する。
 - (3) 受付け場所
大会事務局
 - (4) 必要なもの
 - (a)参加申込書及び誓約書
 - (b)エントリーフィー
 - (c)保険料
3. エントリーの受理と拒否
 - (1)オーガナイザーは理由を示すことなくエントリーを拒否することができ、かつその行為をもって最終決定とする。この場合、エントリーフィー及び保険料は全額返還される。
 - (2)エントリーの受理は、必要事項の全てが明記された参加申込書兼誓約書およびエントリーフィー、保険料が受付け場所で受理された時点でオーガナイザーの参加承認が成立するが、拒否の通知は開催日までに通知される。
 - (3)一旦受理されたエントリーフィー及び保険料はいかなる理由があっても返還されない。

4. 保険
ドライバー及びピットクルーは、参加申込みと同時にオーガナイザーの指定する傷害保険に加入すること。また練習も含めて健康保険証を携帯すること。
5. シャシー、エンジン及びタイヤの登録
競技に使用するシャシーエンジン及びタイヤは車輛規定に準じた国内市販品とし、参加申込書により登録、かつ車輛検査に合格したもののみが使用できる。
登録、使用できる数は次の通りとする。
 - ・ シャシー:1台
 - ・ エンジン:1基
 - ・ タイヤ:ドライ、レイン各1セットただし、トラブルにより使用不能となった場合は、技術長及び競技長の許可の下交換できる。

第3章 エンジン及びカートに関する事項

車輛は安全に製作し、かつドライバー及び他の競技者に対して何ら障害を引き起こすものであってはならない。

1. エンジン

キッズクラス

エンジンはレンタル制とし、レース日当日に厳選な抽選の結果でエントラントに引渡しを行う。エンジンの搭載作業はエントラント側で行う。また、燃料においてはオーガナイザーが用意した混合ガソリンの使用に限る。

- (1)エンジン

エンジンはレンタルエンジン制を採用し、一切の変更を禁止する。
スパークプラグは、「NGK:BPM7A」に限る。
スプロケットは、フロント(ドライブ側)は「7T~11T」、リヤは「75T または 96T」に限る。

- (2) キャブレター

一切の変更を禁止とする。レンタル制。

- (3) 吸気系統

一切の変更を禁止とする。レンタル制。

- (4) 排気系統(エキゾースト・マフラー)

一切の変更を禁止とする。レンタル制。

カデットクラス

エンジンはレンタル制とし、レース日の前日に厳選な抽選の結果でエントラントに引渡しを行う。エンジンの搭載作業はエントラント側で行う。

- (1)エンジン

一切の変更を禁止する。
スパークプラグは、交換不可とする。
スプロケットは、フロント(ドライブ側)は 20T、リヤは 64T~66T に限る。

- (2) キャブレター

一切の変更を禁止とする。

- (3) 吸気系統

一切の変更を禁止とする。

- (4) 排気系統(エキゾースト・マフラー)

一切の変更を禁止とする。

2.カート

前 1 項に規定する当該エンジンを搭載し、「JAF 国内カート競技車輛規則」に合致するリブレ車輛で、かつ次の条件を満たさなければならない。

キッズクラス

(1) シャシー

フレームメーカーは自由。但し市販されているものに限りホイールベース 850mm以内とし、メインフレームの改造は禁止する。フレームパーツは各フレームに合ったものを使用し安全上問題のあるパーツや改造は禁止する。
また、使用できるホイールのサイズは以下の通りとする。
フロント 115mm～130mm / リヤ 140mm～185mm

(2) ボディカウル、サイドボックス、フロントパネル、フロントフェアリングは標準装備のもの、もしくは同等の性能を有するもの(市販品に限る)を必備とし、取付けはビス等でしっかりと固定する。

(3) 競技ナンバーは、車輛の前方と後方に必備とし、前方はフロントパネルを利用し、後方はリヤバンパーに装着するものとする。プレートの素材は不透明で柔軟性のあるプラスチックで、鉄、アルミ板は禁止される。また大きさと形状は四隅に丸み(直径 1.5～2.0cm)をもたせた幅 21cm の正方形とする。

(4) 競技ナンバーは、定められた形状のものを前後2箇所に取り付けなければならない。色は文字が黒色、ベースの色は白色もしくは黄色とし各自用意するものとする。

(5) タイヤのカッティング及び一切の付加は禁止される。また、タイヤは次のタイヤのみ使用できる。
・ドライ ブリヂストン YDS JKKA F:10-3.60-5 R:11-6.00-5
・レイン SL94

(6) ウェット宣言またはウェット・ドライどちらも選択可の宣言が出ない限り、ドライ用タイヤでの出走とする。

(7) 計測に使用するトランスポンダーは、リヤロールバー左側の地上より 30cm以下の場所に、指定のホルダーを用いて、固定する。

カデットクラス

(1) シャシー

フレームメーカーは自由。但し市販されているものに限りホイールベース 900mm以上とする。フレームパーツは各フレームに合ったものを使用し安全上問題のあるパーツや改造は禁止する。また、リヤのトレッドは、ホイール外側がリヤバンパーおよびサイドボックスの外側になるようにする。

(2) ボディカウル、サイドボックス、フロントパネル、フロントフェアリングは標準装備のもの、もしくは同等の性能を有するもの(市販品に限る)を必備とし、取付けはビス等でしっかりと固定する。リヤバンパーにおいては大型リヤバンパーを必備とする。

(3) 競技ナンバーは、車輛の前方と後方に必備とし、前方はフロントパネルを利用し、後方はリヤバンパーに装着するものとする。プレートの素材は不透明で柔軟性のあるプラスチックで、鉄、アルミ板は禁止される。また大きさと形状は四隅に丸み(直径 1.5～2.0cm)をもたせた幅 21cm の正方形とする。

(4) 競技ナンバーは、定められた形状のものを前後2箇所に取り付けなければならない。色は文字が白色、ベースの色は緑色、青色または赤色とする。

(5) タイヤのカッティング及び一切の付加は禁止される。また、タイヤは次のタイヤのみ使用できる。
・ドライ ブリヂストン YDS JKKA F:10-3.60-5 R:11-6.00-5
・レイン SL94

(6) ウェット宣言またはウェット・ドライどちらも選択可の宣言が出ない限り、ドライ用タイヤでの出走とする。

(7) 計測に使用するトランスポンダーは、メインフレームのシートステー左側に、指定のホルダーを用いて、固定する。

3.服装

(1) ドライバーの服装は装備の一部とみなされ、車検の対象となる。競技を安全に行なうことを目的に皮製、JAF 公認または CIK/FIA(FMK)公認のレーシングカーツーツの着用が義務づけられる。ヘルメット、グローブ(手首まで完全に覆うもの)、ブーツ(足首を包み保護する靴)など、それぞれ丈夫で効果的なものでなければならない。また、ネックサポート、リブプロテクターの使用を推奨する。

(2) ヘルメットはフルフェイス型とし、下記の規格のいずれかを有するものが望ましい。なお著しく角張ったものは禁止される。また傷のあるもの、製造より 2 年以上経過したもののレース使用を認めないこともある。

日本規格(JIS)	T-8133	2 種	スネル規格(SNELL)	1985 以降
アメリカ規格(ASA)	Z90-1		イギリス規格(BSI)	2995
西ドイツ規格(DIN)	4848		フランス規格(NFS)	72-305

4.車輛検査

非合法な部分がありながらも、なお車検員に発見されなかったとしても承認を意味するものではなく、レース中にそれに関する疑義が生じた場合は黒旗の指示を受ける場合がある。

(1) ドライバーは車輛検査に立ち合わなければならない。

(2) カート車輛とその装備類は清潔で、かつ正しく整備された状態でなければならない。

(3) 各ヒート走行後、オーガナイザーが指定した場所で計量及び再検査が行なわれる。オーガナイザーによって違反が発見された場合は失格となる。

(4) JAF「カート競技会運営に関する規定」第 31 条及び第 32 条に基づき、レース後車検場で計量が行われる。なお、最低重量制限は下記の通りとする。

キッズ B クラス	ドライバー + カート = 65kg(70kg、75kg)
キッズクラス	ドライバー + カート = 75kg
カデットクラス	ドライバー + カート = 110kg

上記の最低重量に満たないときは各自ウェイトを装着する。ウェイトは必ず車輛から落ちることの無いようしっかりと固定する。

第4章 競技に関する事項

1.信号

競技中ドライバーに対する走行指示は、下記の種類の旗に従い行われる。

- ①国旗
競技開始。
- ②緑に黄色の山形
ミススタート(再度スタートを行なうために整列し直し)。
- ③赤旗
レース中止。全てのドライバーは直ちにレースを中止し、オフィシャルから指示された場合はどの地点でも停止できる体勢でスタートラインまで徐行し停止する。
- ④青旗
周回遅れになろうとしている者に示す。
(静止)後方より速いカートが近づいてきているので現在の進行方向を保持せよ。
(振動)後方より速いカートが近づき追い越そうとしているのでその者に進路を譲れ。
- ⑤黄旗
(静止)危険である。徐行せよ、追越しを禁止する。
(振動)非常に危険である。停止を準備せよ。
- ⑥緑旗
競技続行せよ。障害は除去された。
- ⑦オレンジディスクのある黒旗(番号をそえて掲示)
指示された番号のカートに対する技術的トラブルによるピットイン命令。修理後、再出走できる。
- ⑧対角線で黒と白に分かれた旗と示された数字
指示された番号のカートに対する非スポーツマン的行為に対して最後の警告。
- ⑨黒旗
指示された番号のカートに対するピットイン命令。当該ドライバーは競技長まで出頭すること。
- ⑩黒と白のチェッカー旗
競技終了。ダブルチェッカー(チェッカーフラッグを2度受けること)は失格行為である。

2.公式練習

全てのドライバーは、公式通知(タイムスケジュール)に定められている時間内に公式練習に参加しなければならない。

3.スタート

- (1) スタートはキッズクラスがスタンディングスタート、カデットクラスがローリングスタートとする。
- (2) 時間内にスターティンググリッドにつけなかった者及びエンジンをストップしてスタートできなかった者はピットにて修理した後、ピットからのスタートとなる。
- (3) ピットからのスタートは、先頭のカートが1周して、コントロールラインを通過する前に、コースインすることが出来ない場合、そのヒートに出走できない。

4.出走台数

- (1) 全てのレースの出走台数は20台までとする。但し、21台以上のエントリーがある場合は、タイムトライアルの結果によって2クラス(A及びB)に分け、開催する場合もある。なお最終順位はAクラスの順位を上位とする。
- (2) エントリー台数が5台に満たない場合にはレース不成立とみなし、レースは開催されない。

5.レース中のルール

- (1) コーナーは常に先入優先とし、追い抜きを行なう者は前方のカートの走行を妨害してはならず、また前方のカートは後続車の進路を妨害してはならない。
- (2) コース員が反則または妨害行為(プッシング、ブロッキングその他の非スポーツマン的行為)とみなした者については、ペナルティを科する。されにその行為が2回以上に及ぶ時は失格とする。
- (3) いかなる場合も、定められた方向と逆に走行してはならない。
- (4) レース中は、やむを得ない場合を除きコースを外れてショートカットすることは認められず、当該行為はペナルティの対象となる。
- (5) 故意にコースから車輛を離して走行することはショートカットとみなされる。

- (6) 衝突を避けるためにやむを得ずコースアウトした場合は、その最も近い場所から再びレースに復帰しなければならない。
- (7) レース中にコースエリア内で停止してしまった場合、他のドライバーに自分が動かないことを示し、それらが過ぎ去ってからカートはレースの障害とならない場所に移動しなければならない。但し、他を妨害することなく自力で再スタートできる場合にはレースに復帰できるものとする。
- (8) コース上における再スタートや修理はドライバー自身で行なわなければならない。
- (9) レース中にゼッケンまたはゼッケンプレートが脱落等で判読不可能となった場合は、周回が記録されないことがある。
- (10) ドライバーは工具等を携帯することはできない。また工具を取りにピットへ戻ったり、ピットクルーがコース内に立ち入って作業することはできない。
- (11) ピットイン、ピットアウトは決められた場所で行なわなければならない。
- (12)トラックとピットロードを区分するイエローラインをカットすることはできない。カットした場合はペナルティの対象となる。
- (13) レース進行中パドックに入ったカートはレースを放棄したものとみなされ、再びコースに入ることは許されない。
- (14) 事故に見舞われたカートは、オフィシャルによって検査のために停止を命じられることがある。
- (15) 競技長は、不適当もしくは危険とみなしたカート及びドライバーを除外する権限を有する。
- (16) 公式練習終了後ガレージ、工場への立ち入りは禁止する。やむを得ない場合は技術委員長、もしくは競技長の承認を必要とする。承認なしで入った場合は失格とする。
- (17)トラックとピットロードを区分するクラッシュパッドやガードレールに接触してはいけない。接触した場合は安全走行義務違反として、ペナルティの対象となる。

6.ドライバーサイン

- (1) ドライバーサインは次の通りとし、これを怠った者に対してはペナルティを科することがある。
 - (a) コース上で停止した場合は、両手を高く上げ、他の走行車輛に合図する。
 - (b) ピットイン、ピットアウトする場合は、片手を頭上に高く上げる。

7.完走

- (1) 完走者とは、レースの着順1位の者がフィニッシュラインを通過後に1分以内に自力で同ラインを通過するか、規定の周回数の2分の1以上を走行した者をいう。
- (2) 「自力」の定義は、他のいかなる人の援助も受けずカート自身もつ動力、ドライバーの筋力または動力などの自然現象による方法のみによりコース上を正しい方向に進行できる状態をいう。
- (3) フィニッシュラインを通過する際には、ドライバーとカートは一体となっていなければならない。
- (4) ドライバーはフィニッシュラインを通過後徐々にスピードを落とし(追越しは禁止)正規のコースを走行してピットインしなければならない。
- (5) 完走者となった者のみが入賞の対象となる。
- (6) 先頭のカートが規定の周回数を終了する以前に誤ってチェッカー旗が表示された場合は、その時点を以って競技終了とする。また遅れてチェッカー旗が表示された場合は、チェッカー旗とは無関係に、競技は規定の周回数で終了したものとして順位が決定される。

8.ペナルティ

(1) ペナルティには次の4種がある。

- (a)警告
- (b)ポジションペナルティ
- (c)ラップペナルティ
- (d)タイム及び得点ペナルティ
- (e)失格

(2) ペナルティは全てのヒートに適用される。

(3) 警告はその必要ありと認められた軽反則に対して発せられる。

(4) ポジションペナルティは失格にならない程度の違反に適用され、5ポジションダウンのペナルティが与えられる。

ブロッキング・プッシング・進路妨害	フラッグ無視
ピットロード徐行違反	逆走
ドライバー交替時のエンジン停止違反	イエローラインカット
ミススタート(フライング)	安全走行義務違反

(5) 失格は次の反則行為に科せられる。

- (a)違法または不当に得たアドバンテージ。
- (b)故意に自己または他人の安全をかえりみることなく行なう危険行為。
- (c)与えられたオフィシャルの指示を故意に無視した際。
- (d)与えられたフラッグサインを故意に無視した際。
- (e)故意によるプッシング及び進路妨害。
- (f)複数回に及ぶフラッグ無視

(6) ドライバーの技量による危険行為に関しては黒／白旗によって指示され、安全速度での走行が義務づけられる。
なお、この指示に従わない場合は失格とする。

9.順位の決定

レース順位は、周回数に基づき決定され、同一周回数の場合はコントロールラインを通過した順で決定される。
なお、コントロールライン通過順の決定は計測器の結果に基づいて行われる。

10.ピット及びパドック内におけるルール

- (1) ピットクルーは場内では定められたクレデンシャルをつけていなければならない。
- (2) ピットは指定された場所を使用しなければならない。また、ピット内に入り作業し得る者は、当該レースに出場しているドライバーと、その登録されたピットクルーのみとする。
- (3) 走行中のドライバーに対してピットサインを送る場合は、ピットクルー1名に限り、各自のピット前面のエリア内においてのみ、その行為を行なうことができる。
- (4) ピットクルーの行為に関する最終的な責任は、ドライバーに帰属する。ピットクルーによる規則の違反は当該ドライバーに対する黒旗の提示となることがある。
- (5) ピットエリア内における火気の使用は全て禁止する。
- (6) 燃料の持込みはすべて消防法により認められた金属製の携行缶に保管することとし、総量 20 リットル以内とする。
- (7) レース中ピットクルーは、自分のピットエリアを離れてはならない。
- (8) パドック内での走行は全て禁止する。
- (9) パドック内での喫煙は指定喫煙所を除き、厳禁とする。これに違反したドライバー及びピットクルーは大会から除外される場合がある。

(10) レース中の給油は耐久レースを除き、禁止する。給油は指定された場所で行い、ドライバーはエンジンを停止して、シートを離れなければならない。

11.車検

(1) 全車 15 分以上の車輛保管を行なう場合がある。

(2) 技術委員長はスタートした全ての車輛に関し車輛検査を行なう権限を保有するものとする。技術委員長、技術委員が検査を行なう際はエントラント、ドライバー、ピットクルーは責任を持って車輛の分解及び組み立てを行わなければならない。但し関係役員、当該車輛のドライバー及びピットクルー以外は、車検に立ち合うことはできない。

(3) 技術委員長、技術委員が行なう本条項の検査に応じない場合は失格とされる。

12.抗議

(1) 方法と取扱い

抗議の方法及びその取扱いについては、国内カート競技規則第 13 章に定める所による。また抗議のできるのは当事者であるエントラントのみとする。

(2) 提出

抗議は全ての大会の競技長を経由し、大会審査委員会に書面をもって、抗議料を添付の上、提出するものとする。

(3) 提出の時間制限

- (a)技術委員または、車輛検査員の決定に対する抗議は決定直後とする。
- (b)競技中の過失または、反則に対する抗議は、その競技終了後の 30 分以内とする。
- (c)競技の成績に関する抗議は、その発表後 30 分以内とする。

(4) 抗議料

抗議料は 21,000 円(消費税込み)とする。

第5章 成績及び賞典に関する事項

1.賞典

(1)レース賞典

レースの最終順位に対してエントリー台数を考慮の上、下記の賞典が与えられる。

10台以上	1～5位	カップ・副賞
5台以上 10台未満	1～3位	カップ・副賞
5台未満	不成立	

(2)シリーズポイント

シリーズ各戦ごとに入賞ポイントが与えられ、シリーズ有効ポイントの合計ポイントによりシリーズチャンピオンが決定される。有効ポイントは、シリーズ全5戦(6戦)中、4戦(5戦)を有効ポイントとし、有効ポイントが同ポイントの場合はシリーズ全戦の合計ポイントで決定し、それでも同ポイントの場合は最終戦の結果によって決定される。

(3)シリーズポイントは、キッズクラス、カデットクラス共にレース参加台数によって以下のポイントが与えられる。

エントリー台数	10台以上	5～9台	5台未満
1位	15	10	レース不成立
2位	13	8	
3位	12	7	
4位	10	5	
5位	9	4	
6位	8	3	
7位	7	2	
8位	6	1	
9位	5	1	
10位	4		
11位	3		
12位	2		
13位以下	1		

(4)シリーズ表彰はシリーズ優勝者にトロフィーと次年度のレースサポート①、②が与えられる。

- ①ラバー能でのキッズ及びカデットクラスのカートシリーズに参戦の場合、エントリーフィーが半額。
- ②レースに必要なパーツ等をサポート価格で販売。

第6章 損害補償

オーガナイザー及び大会役員の業務遂行によって起きたドライバー、ピット要員の死亡、負傷及び車輛の損害に対して、主催、後援、協力、協賛するもの及び大会役員は一切の保証、責任を負わないものとする。

第7章 広告に関する事項

ナンバープレートに広告を表示することは認められない。その他の広告についてオーガナイザーは次のものに関して抹消する権限を有し、かつドライバーはこれを拒否することができない。

1. 公序良俗に反するもの
2. 政治・宗教に関連したもの
3. 本大会に関係するスポンサーと競合するもの

第8章 保険

保険金額は被保険者1名について次の通りとする。

ドライバー保険金額 普通条件 2000万円

1. 死亡保険金 事故の日から180日以内に死亡した場合は保険金額が支払われる。
2. 入院保険金 日額4000円支払われる。
3. 通院保険金 日額1500円支払われる。

ピットクルー保険金額 普通条件 1000万円

1. 死亡保険金 事故の日から180日以内に死亡した場合は保険金額が支払われる。
2. 入院保険金 日額2000円支払われる。
3. 通院保険金 日額1000円支払われる。